

## 令和3年度小論文試験 学校推薦型選抜（A推薦，B推薦）， 帰国生特別選抜，社会人特別選抜

### 出題の意図

本出題では，受験生に対し，日本の農業基盤の現状について考えを問うとともに，グラフ情報の読解能力を評価するものである。

問1．図1と図2は，それぞれ2000年から2015年間の日本の農家戸数の推移と，農業就業者の年齢別構成比を表している。これら2つの図から次のような事柄を読み取ることが出来る。

- ・年次の推移とともに農家戸数が減少している。
- ・専業農家戸数はほぼ一定であるが，兼業農家戸数が著しく減少している。
- ・2000年から2015年までを通じ，農業就業者に占める60歳以上の割合が高い。
- ・年次の推移とともに，農業就業者に占める40歳代，50歳代の割合が減少している。
- ・2005年以降，70歳の割合が最も高くなっている。

問2．図3と図4は，それぞれ2000年から2015年間の日本の耕地面積の推移と，用途別の耕作地の構成比を表している。これら2つの図から次のような事柄を読み取ることが出来る。

- ・年次の推移とともに耕作地全体の面積が減少している。
- ・耕作地の用途別で見ると，水田の面積が著しく減少している。
- ・年次の推移とともに全耕作地に占める水田の割合が減少している。
- ・年次の推移とともに全耕作地に占める耕作放棄地の割合が増加している。

問3．図1～4から読み取れること（問1と問2で答えたこと）の中から，日本の農業における問題点を見出し指摘する。指摘した問題点についてどのような取り組みを行えるか，自身の考えを述べる。

採点のポイントとしては，「問題点の指摘が明確になされているか」，「これから大学で農業を学ぶ者として，明確な考えが述べられているか（単なる感想や抱負で終わっていないか）」，「指摘した問題点と，自身の考えの間に論理的な剥離がないか」などが挙げられる。